



令和2年1月23日(木) 第35号



## 実力テストを攻略せよ!



インフルエンザも落ち着き、ようやく普通の学校生活に戻りつつあるような気がします。このまま平穏無事に冬を終えたいところです。さて、安心するのもつかの間、来週27日(月)、実力テストがおこなわれます。61期生にとっては1年ぶりの実力テストですが、どういうテストか覚えていますか? 1~2か月間ぐらいの授業で学習したことが出題範囲となる定期テストに比べて、実力テストは、特に指定のない限り《これまで習ったこと全部》が出題範囲となります。5教科のテストを1日(1~5限)でおこなうので、集中力の持続もポイントになります。



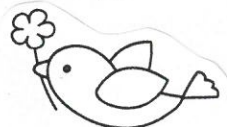
実力テストに関して、定期テストのようにテスト範囲表や学習計画表も配布されないので、時々「実力テストは勉強せずに受けるテストだ」というような“妄言”も聞こえてきますが、絶対にそんなことはありません。ただ、“テスト勉強の方法”という意味では少し違いがあります。

出題範囲が明確な定期テストでは、テスト1週間前などに授業の内容をふり返って“暗記する”ような勉強が多くなると思います。定期テストに限っていえば、国語科でさえ“暗記系”の勉強がある程度は効果的だと思います。しかしながら、出題範囲が広がる実力テストでは、「テスト直前になって急いで暗記する」といった勉強方法はあまり適していないといわざるをえません。実力テストでは、特にテスト前に限らず、普段から計画的に勉強しておく必要があります。

たとえば、1・2年生の授業使ったワーク・問題集を復習するのはとても効果的です。また、これまでに受けた定期テストの問題は、それだけで1冊の問題集になるぐらい良い問題が集まっています。ぜひ、何度も繰り返しやってみましょう。その他にも、教科書・ノートも当然ながら有効な勉強道具です。そして、何より大切なことは、そういった「1・2年生の学習内容を復習する」という勉強に、普段から時間を見つけて取り組むという姿勢です。

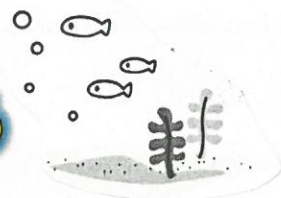


この学年だよりが配布されるのは実力テストの4日前です。キミは、「今からできるテスト勉強はもう何もない」といって勝負を諦めますか? 今回のテストに臨む姿勢が、《3年生の1学期》に向けた“助走”になるのだということを忘れずに、しっかり向き合ってほしいと思います。





# 人生をプロデュースする

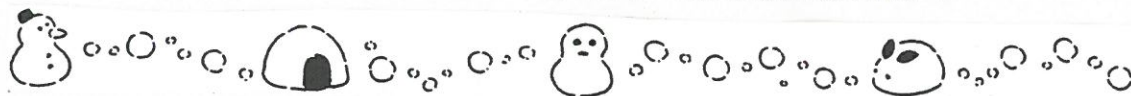


3年生はいよいよ私立高校の受験を迎えようとしています。大阪府の私立高校の入試は、2月10日・11日におこなわれるので、もうすぐ2週間前になります。ちなみに、この学年だよりが配布されている頃、まさに3年生が自分の受験する高校に出願書類(願書＝受験を申し込むための書類)を提出しに行っています。このタイミングで、2年生も少し具体的な進路学習をおこないます。いわば【受験勉強】を始める前に知っておいてほしい“基礎知識”のようなことを学習します。

自分の進路、とりわけ自分が受験する高校のことを考えるとき、「自分の成績ではどこの高校に入れるのか」ということをもっと先に考えがちですが、その発想では、進路を考えるときにもっとも大切なことを見落としてしまいます。それは、「進路は“人生”だ」ということです。



義務教育の間は、自分が生まれ育った地域の小学校・中学校に通って勉強してきましたが、義務教育後の高校からはこれまでと違ってきます。特に「自分で選択する・自分で決める」という点が大きな違いといえます。さらに、高校の後には大学や専門学校などがあり、最終的には就職して社会人として大人になっていく…という人生が待っています。“人生”のことなんて、これまではあまり考えたことがなかったかもしれませんが、これからは自分の人生をイメージして進路を考えなければなりません。高校を受験する人がほとんどだとは思いますが、その高校の向こうにどんな進路を思い描くのか。そして、将来はどんな仕事に就いて、どんな社会人になっていくのか——。そういうことを考えもせず、「自分の成績ではどこの高校に入れるのか」と考えるのは、あまりにも“答え”を急ぎ過ぎだと思いませんか？ あまりにも“場当たり”的だと思いませんか？



一度しかない自分の人生だから、キミたちには、ゆっくり時間をかけて、丁寧に考えてほしいと先生たちは願っています。そのためには、最初からすぐに“答え”ばかりを求めるのではなく、その“答え”にたどり着くまでの過程を大事にしてほしいと思います。進路を決めるまでの約1年間、これからの1年間は、ぜひ、**自分の進路、自分の人生をしっかりと見つめる1年間に**しましょう。61期生のみんながどんな人生を見つけていくのか、応援しながら見届けようと思います。



## 保護者のみなさまへ

来るべき3年生1学期に向けて、来週から少しずつですが進路学習をおこないます。ご家庭でもぜひ話題にしていきたいと思います。本文にも書きましたように、私たちはつい「この成績なら〇〇高校に行ける、行けない」「この成績ではどこにも行ける高校がない」などといった話をしがちです。でも、そういう話をするのは、もう少し待っていて、まずは自分の進路を前向きに考えられるような声かけをお願いしたいと思います。私たち教員は、義務教育を終えて、未来へはばたく彼らが希望をもって自分の進路、自分の人生について考えていけることを願って進路学習に励みます。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。